



# うちなだ 議会だより

Vol.159

令和6年〔2024〕  
11月5日発行

## 本格的な復旧・復興に前進！ 9月会議

…… 2 - 3

### 委員会レポート

…… 4 - 6

道路の復旧復興を急げ 冬季の除雪に支障がないように 総務産業建設常任委員会  
マイナ保険証 混乱のないように周知必要 文教福祉常任委員会  
豊かな自然を生かした賑わい創出を 決算特別委員会  
進めよう！復旧・復興！ 令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会

ありゃ～どうなったがいね～ 七田議員、西尾議員

…… 8

### 一般質問 6人が登壇

…… 9

街かどインタビュー 向栗崎菅原神社総代

…… 16



9月会議  
9月3日～18日

# 復興に前進！

## インフラ復旧(追加)

道路、側溝等災害復旧工事  
増額 2億8400万円  
総額 4億2000万円



仮設トイレ設置期間延長費用  
900万円

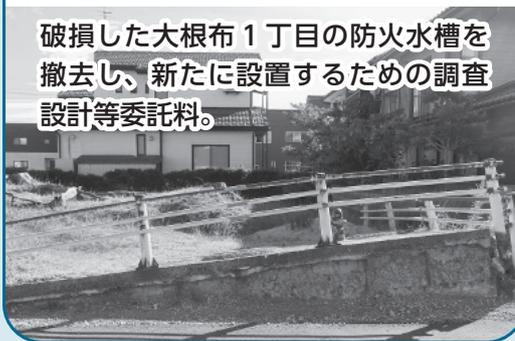
内灘中学校復旧工事(外壁及び相撲場)  
増額 230万円

西荒屋小学校復旧工事  
実施設計業務委託料  
増額 447万円

北部保育所復旧基本  
調査委託料 100万円

防火水槽調査設計等  
委託料 560万円

破損した大根布1丁目の防火水槽を撤去し、新たに設置するための調査設計等委託料。



令和6年9月会議は9月3日から18日までの16日間開催され、認定7件のほか、令和6年度補正予算4件、条例の改正3件、人事案件など計11議案を審議し、全て原案の通り認定、可決、同意した。  
また、議会議案として「内灘町議会決算特別委員会の設置について」、「少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について」、「ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書の提出について」を可決した。

### 条例

(主なもの)

内灘町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法の改正(健康保険証)とマイナンバーカードが一体化されることにより、被保険者証が廃止されることとなったため、被保険者証に関する規定の削除等の改正を行う。

事務の相互委託の廃止について

「広域行政窓口サービスにおける証明書の交付等に係る事務」

コンビニ交付サービスの普及等により、広域行政窓口サービスが終了するため、かほく市以南の7市2町との証明書の交付等に係る事務の委託に関する規約を廃止する。

財産の取得について

「災害対応人員搬送車1台」

取得財産…災害対応人員搬送車 1台

契約金額…625万円

契約相手…株式会社 本田商会  
納期…令和7年2月28日

復旧・復興の  
加速化へ  
ピックアップ

# 町民の皆様に寄り添って 本格的な復旧

## 被災者支援（追加）

### 被災者生活再建 支援金

増額 5000万円  
総額 1億円

### 災害弔慰金

増額 1000万円

### 所有者不明建物の 公費解体を進める ための費用

707万円

詳細はP4

### 農業機械再取得等 支援事業費補助金 （新規）

9900万円

### 農地等手づくり復旧 支援事業費補助金 （新規）

320万円

### 中小企業経営支援利子補給金 創業サポート事業補助金

増額 100万円

増額 160万円

### 国民健康保険税の震災減免（基金積立金により調整）

医療給付費現年度分

△1214万円

介護納付金現年度分

△157万円

後期高齢者支援金現年度分

△395万円

## 日常医療の充実

- 子ども医療費助成金 3500万円
- 新型コロナワクチン定期予防接種（新規） 5500万円  
接種対象者：① 65歳以上 ② 60～64歳までの一定の基礎疾患を有する方  
自己負担額：2,100円
- 公的病院等運営費補助金（補助対象：金沢医科大学病院） 1億円  
地域医療を安全かつ継続的に確保するための、救急医療や周産期医療の運営に対する補助金

請負契約の締結について

「大清台地内消雪設備工事  
（さく井）」

工事の名称… 大清台地内消雪設  
備工事（さく井）  
契約金額… 4808万円  
契約相手… 株式会社 エオネッ  
クス

### 人事案件

（全員賛成）

### 教育委員会委員



島崎  
のりこ

典子氏（60歳）  
（新任 向栗崎）

### 議会人事案件

※生田勇人氏の議員辞職に伴うもの。

### 議会運営委員会

委員長 中川 達氏  
副委員長 夷藤 満氏  
委員 北川 悦子氏

### 河北郡市広域事務組合議会議員

十屋 克之氏

## 産業建設常任委員会

### 道路の復旧復興を急げ 冬季の除雪に支障がないように

◎恩道正博 ○西尾雄次 南 守雄  
中川 達 磯貝幸博 中村 聡

9月は令和6年度一般会計補正予算含む3議案、消雪設備工事についての追加議案等の審査が行われた。能登半島地震により甚大な被害のあった道路・側溝の応急復旧工事等に関して議論された。

**問** 道路・側溝の応急・復旧工事について実施箇所は決定しているか。冬季の除雪に支障がないよう、地域の代表者にも協力を求めていくべきだ。

**答** 国の災害査定が終わった箇所から実施予定。地区協議会と連携を図り、優先箇所の確認等を進めていきたい。

**問** 防火水槽整備は、周辺道路の幅も検討すべき。

**答** 地域住民の意見を聞きながら検討したい。

**問** 11月1日に導入される※変動型最低制限価格制度により、落札額が必要以上に下がらないか。

**答** 多くの自治体が採用しており、人の手が入らないランダム係数方式を採用した。



冬季までに復旧を

**問** 公共交通運行支援金の負担割合は。

**答** 国が3分の1、県と関係市町が協調して3分の1、残りを事業者が負担する。北鉄独自の「Ica」にも対応し、鉄道線は来年度以降の実施予定。

※変動型最低制限価格制度

最低制限価格(税抜)にランダム係数0.9990から1.0000の範囲で、0.0001刻みの11通りの数値を乗じて、電子入札システムで開札直前に決定する。変動値は、入札参加者の入力くじ番号及び入札書受信日時のミリ秒の合計値を11で除算した余りにより決定する。

## 文教福祉常任委員会

### マイナ保険証 混乱のないように周知必要

◎清水文雄 ○土屋克之 夷藤 満  
北川悦子 生田勇人 川口正己

9月は両常任委員会合同で現地視察を行った後、各委員会でも審査をした。

西荒屋小学校の校舎体育館、プール、グラウンド、給食配膳室棟を視察し、再開に向けた実施設計費用2640万円計上の審査をした。

内灘町国民健康保険条例の一部を改正する条例については、被保険者証とマイナンバーカードの一体化に伴う、規定の削除等の改正との説明を受けた。

**問** マイナンバーカードの町内保有率・マイナ保険証の利用率を問う。12月以降混乱をまねかないように、制度の詳細をもっとわかりやすく周知していく必要がある。

**答** 令和6年7月末時点での保有率は78.4%。そのうち保険証と紐付け済は、令和6年6月末時点、国民健康保険で69.22%、後期高齢者医療保険で69%。

利用率は令和6年6月末時点で、国民健康保険で22.13%、後期高齢者医療保険で16.51%となっている。

国・県と連携し、制度についての周知・啓発に取り組んでいく。



再開待たれる西荒屋小学校

**問** 西荒屋小学校の再開に向け、実施設計にかかる費用が計上されているが、再開用途は立っているのか。

**答** 現時点で再開時期を示すことはできない。

**問** 所有者不明建物管理命令申立業務委託料の詳細は。

**答** 公費解体を進めるため、所有者を特定できず半壊以上と思われる建物を対象としているが、制度詳細が示されており、見込10件として計上している。

# 豊かな自然を生かした賑わい創出を

9月11日  
～13日

決算  
特別  
委員会

◎磯貝幸博 ○北川悦子 夷藤 満  
恩道正博 川口正己 西尾雄次

## 令和5年度決算に対する指摘事項

### 1. 能登半島地震からの復旧復興施策について

- ・道路の復旧は、早急に進めるべきである。総合公園からかほく市に至る町道および県道は、片側交互通行の状態が続いている。北部地区住民からも土砂崩れへの不安の声があり、一刻も早く道路の復旧が完成するよう努めるべきである。
- ・地震の被害状況の把握や、今後の復旧状況の記録などに、ドローンを積極的に活用すべきである。現在、消防署のみの配備だが、災害対策として本庁においても配備を検討すべきである。
- ・今回の地震では、多くの地域で断水が発生した。かほく市との水道管連携を急ぎ、北部地区における災害時の断水対策を進めるべきである。

### 2. 内灘海岸の賑わい創出施策について

- ・内灘海岸の来訪者数については、海水浴客数だけではなく、海岸全体の来訪者数の把握に努め、海岸の魅力発信や今後の活性化策に活用すべきである。
- ・町の重要な観光資源である内灘海岸の旧浜茶屋の撤去が完了したが、賑わい創出に向けた動きが見られない。積極的に事業を推進すべきである。また、堆積する砂の撤去やトイレの利用環境の向上に努めるべきである。
- ・内灘海岸から放水路までの賑わい創出道路や遊歩道の整備など、施策の具現化を進めていくべきである。また、施策の実現にあたっては、民間活力の活用も検討すべきである。

### 3. 福祉施策について

- ・健康診断の受診率は、コロナ禍を経て下げ止まりの傾向にある。病気の早期発見、重症化予防のためにも、特定検診など、健康診断の受診率向上を積極的に推進すべきである。
- ・少子化対策は喫緊の課題である。出産時には、出産一時金が支給されるが、費用全額を賄えない場合も多い。町として、出産に伴う経済的負担を軽減する施策を検討すべきである。

## どうなった？令和4年度決算に対する指摘事項

### 風力発電施設の方向性を早急にだすべき

→耐用年数を超え、設備が老朽化していることから、撤去について検討している。事業用地の所有者である国と協議を進めており、費用負担の軽減につながるよう、工法等について検討していく。

### 海岸、放水路、サンセットブリッジ内灘のライトアップなどを一体的に考えて整備計画を策定せよ

→今後の復旧・復興の状況を見据えた上で、構想策定作業を再開し、海岸の賑わい創出、放水路周辺回遊空間整備、サンセットブリッジライトアップ事業などを一体的に考えた整備計画を検討していく。

### 防災士と消防本部・消防団との連携を図れ

→令和5年度においては、総合防災訓練の一環として、地区自主防災組織や防災士、消防本部、消防団を交えて避難経路に関する図上訓練を実施した。今後も引き続き、より実践的な総合防災訓練やスキルアップ研修会を通じ、地域の防災士と消防組織の更なる連携強化を図っていく。

### 教育に係る予算の拡充を図るべき

→子育て世代の経済的負担軽減を図るため、中学生の学校給食費を令和6年度2学期から無償化した。その他については、順次検討を進めていく。



内灘海岸・放水路周辺の賑わい創出を(放水路工事現場)



令和5年度内灘町決算の概要は、10月発行の「広報うちなだNo.741」をご覧ください。

令和6年能登半島地震  
災害復興対策特別委員会

◎中川 達 ○中村 聡  
南 守雄 清水文雄 夷藤 満 北川悦子 恩道正博  
生田勇人 川口正己 磯貝幸博 西尾雄次 土屋克之  
オブザーバー 七田満男議長

# 進めよう！復旧・復興！

## —— 主な報告事項・意見等 ——

7月18日

1. 復興検討スケジュール（案）について
2. 令和6年能登半島地震復興基金について
3. 石川県賃貸型応急住宅における入居期間の運用について
4. 公費解体の状況について



止まるな！復旧・復興！

### ～委員会での質疑（一部）～

- ・奥能登6市町と支援に格差が生じないように、県に要望せよ。  
→引き続き、県に要望する。
- ・白帆台以北だけではなく、北部地区全体の市街化調整区域の解除を要望せよ。復興住宅整備のための用地取得に向け、早急に土地所有者への意向調査を行うべき。  
→早急にアンケート調査を行いたい。

9月3日

1. 震災復旧・復興に関する地区説明会について
2. 令和6年能登半島地震復興基金について
3. 公費解体の状況について

地区説明会の詳細・資料については、ホームページをご覧ください。

## 岸田前首相来町



岸田前首相に説明する川口町長（西荒屋小学校）

令和6年9月19日(木)

前内閣総理大臣 岸田 文雄氏が来町されました。岸田氏からは「今年度中に液状化被害の復興計画を策定できるよう支援する。10月に専門家を派遣し、土地の境界・面積を明確にする地籍調査を進める。」と力強い言葉をいただきました。

## 7月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	中村	土屋	西尾	磯貝	七田	川口	生田	恩道	北川	夷藏	清水	中川	南
				聡	克之	雄次	幸博	満男	正己	勇人	正博	悦子	満	文雄	達	守雄
議案第56号	令和6年度内灘町一般会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	財産の取得について [災害対応特殊消防ポンプ自動車 1台]		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

## 9月会議審議議案と採決状況

議案第58号	令和6年度内灘町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和6年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	令和6年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	令和6年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	内灘町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○	
議案第64号	内灘町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第65号	事務の相互委託の廃止について [広域行政窓口サービスにおける証明書の交付等に係る事務]	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第66号	財産の取得について [災害対応人員搬送車 1台]	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	請負契約の締結について [大清水台内消雪設備工事(さく井)]	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第68号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	令和5年度内灘町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第2号	令和5年度内灘町新エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第3号	令和5年度内灘町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	令和5年度内灘町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	令和5年度内灘町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第6号	令和5年度内灘町水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	令和5年度内灘町下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
議会議案第4号	内灘町議会決算特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
議会議案第5号	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
議会議案第6号	ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、-は採決に加わらない

## 意見書の提出

可決

議会議案第5号  
少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について

◎提出者 生田 勇人  
○賛成議員 清水文雄 恩道正博

◎提出者 清水文雄  
○賛成議員 生田 勇人 中川 達

可決

議会議案第6号  
ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書の提出について

◎提出者 清水文雄  
○賛成議員 生田 勇人 中川 達

要旨  
ガザ地区の危機的現実を直視し、国連総会決議実現のため、引き続き外交努力を行うよう要望する。

※右記2件の意見書は内閣総理大臣含む関係大臣へ意見書を送付済。

一般質問のゆくえ

# 追跡

ありゃ～  
どうなったがいね～

## 放水路一帯を親水空間に

放水路水門の移設を機会に付近一帯を親水空間として整備する考えはないか。

令和4年9月

七田 満男

## 学校給食費の無償化を

子どもを産み育てやすい社会づくりのために学校給食費を無償化せよ。

令和5年3月

西尾 雄次

答 弁

### 整備を考えている

放水路の水門移設で海水面が広がることから、その空間を活かした整備を考えている。

その後

令和6年9月 現在

国の水門移設工事は進んでいるが、町の整備構想づくりは、震災復旧・復興のため中断している。早期の再開を検討中。



現在進行中（放水路）

答 弁

### 段階的实施も検討

小中学生の給食費無償化には、年間約1億2千万円が必要。財政状況を見極め段階的实施も検討したい。

その後

令和6年9月 現在

令和6年2学期から中学校の給食費を無償化。小学校は検討中。



栄養バランスを考えて





いそがい 磯貝 ゆきひろ 幸博

# 町政4期目への決意を問う

## 町長 粉骨砕身この身を捧げる

**問** 地面が荒れ狂い境界も不明な箇所が数多くみられる被災地区では、早期復旧の糸口は、国の調査、安心な工法の提示、県道の早期復旧、そして地域住民の合意形成だ。今、町は一致団結して困難を乗り越えていくべき大切な、大切な時期だ。内灘町を希望ある未来へと力強く導く川口町政4期目への決意と覚悟を問う。



詳細は「YouTube内灘町議会チャンネル」をご覧ください

**答** 町は未曾有の大災害により甚大な被害状況に直面した。町民も職員も一致団結し震災対応にあたるなか今、復旧・復興途中の町政運営を投げ出すわけにはいかない。「ともに創ろう、災害に強く住みよい内灘」の貫徹のため、不転の決意を持って粉骨砕身、この身をささげる覚悟だ。

### こども屋内・屋外運動施設

**問** かほく市には「あそびの森かほつくる」が、津幡町には「もりのひみつきち」が整備されたが、いずれも多くの人々が集い人気だ。内灘町新図書館基本構想の具現化の際には、親しみ深い愛着のある施設として、多くの町民が集い、いつでも来客者でにぎわっているような屋内・屋外運動施設の設置できないか。

**答** 近年建設された公立図書館では、子供たちが楽しく過ごせる空間を設けるところが多い。石川県立図書館においては、屋内に遊具を設置した子供スペースや、本を持ち出し自然の中で読んだり、公園のように自由に遊べる場所がある。屋内外の運動施設などの設置は、新図書館の計画を進める中で検討していく。

### その他の質問

**問** マイナカードの利用環境の向上へ積極的な取組が必要だ。

**答** 自治体マイナポイント活用の取組事例等を参考に、調査研究していく。



多くの方で賑わう施設を



しみず おみお  
清水 文雄

# 災害復興計画検討委員会を公開せよ

## 次回以降は公開で開催する 都市整備部担当部長

### 一般質問



第1回内灘町災害復興計画検討委員会

**問** 5月1日に災害復興本部を立ち上げ、さらに災害復興計画を策定するための災害復興計画検討委員会を設置し、8月2日に開催している。翌日の新聞報道では、会議の意見交換は非公開とされているが事実か。

**答** 災害復興本部会議での検討事項は、意思決定の過程段階の内容であるため、公開はしていない。また第1回内灘町災害復興計画検討委員会は、各被災地区の被害状況などの発言に、個人情報などが含まれる可能性があるため、公開していない。次回以降は個人情報等に配慮し、傍聴も含め、公開する方向で開催したい。

**問** マイナ保険証を所有していない方の健康保険

**答** 6月現在、国民健康保険で22・13%、後期高齢者医療保険は16・51%だ。

**問** いよいよ現行の紙の健康保険証が、新規に発行をされなくなる12月2日まで、あと3カ月となった。本町のマイナ保険証の利用率を聞く。

**答** 加入している保険者から**※資格確認書**が交付され、その資格確認書を医療機関に提示することで、これまでと同様に保険診療を受けることができる。

**答** 加入している保険者から**※資格確認書**が交付され、その資格確認書を医療機関に提示することで、これまでと同様に保険診療を受けることができる。資格確認書の有効期間は、最大5年間まで設定できる。このことをしっかりと啓発したい。

### マイナ保険証が無くても資格確認書で大丈夫



マイナ保険証を利用中

### その他の質問

**問** 内灘高校横・準幹10号線の整備で、町と地権者との協議状況と計画の進捗状況を聞く。

**答** 今月中には話合いの場を設けるよう進めている。整備事業について改めて地権者と協議したい。

**問** 入札制度の変動制導入は、いつから実施する予定か。

**答** 本年11月1日からの実施を予定している。広報やホームページ等で制度の周知を図りたい。

### ※資格確認書

オンライン資格確認を受けられることができない方のためのもので、主にマイナ保険証を所持の場合などに無償で交付予定。



つちや かつゆき  
土屋 克之

# 粗大ごみをメルカリ販売に

## 町民福祉部担当部長 修理して低価格で抽選・提供している

「メルカリ」で  
かんたんフリマ体験!



メルカリの公式サイトより

**問** 公費解体の申請も約250戸におよぶと思われる、家の中の片付けは、最終段階に入っている方々が多い。災害の粗大ごみ等について、リユース(再利用)する仕組みを検討されたことがあるか。

**答** 粗大ごみのうち再利用が可能な家具などをメルカリで販売する動きが自治体に広がっている。災害の粗大ごみ等は、難しいとしても、通常の粗大ごみをメルカリ販売できないか。

**答** 一時的に大量に発生し、早急に処理をすることが求められるため、検討したことはない。

**答** ※リサイクルプラザに持ち込まれた自転車等で、状態の良好なものは修理・展示し、低価格で抽選にて提供している。

### 高校生等通学支援に 対象外・内灘高校生を

**問** 高校生等通学支援給付金だが、簡単に言えば、内灘町に住所を有する高校生等の保護者さんに対して、令和5年10月から一人・月千円の通学支援給付金を支給となる。内灘高校生で内灘町以外に在住の通学高校生のことは、議論が上がらなかったのか。

**答** 町内に住所を有する高校生等を対象として、

子育て世帯の通学に係る負担軽減を図る目的の制度であり、町外の高校生についての議論は行っていない。

**問** 町外の内灘高校生が、こんなに内灘町を見る機会はない。小規模校の存続を見据えた通学支援を行ってほしい。

**答** 町外在住の個人に対して行うことは難しい。



内灘高校入口

### ※メルカリ

メルカリは無料で使えるフリーマーケットアプリ。自分の家の不要なものや、見知らぬ誰かの不要なものを、アプリやパソコンから売ったり買ったりできるサービス。

### ※リサイクルプラザ

正式名称は河北郡市リサイクルプラザ。河北郡市広域事務組合が運営するリサイクル工場と、処理済みの資源や粗大ごみの再生物品の保管棟からなる。



にしお ゆうじ  
西尾 雄次

# 災害公営住宅の建設見通しを示せ

## アンケートで希望数を把握 町長

### 一般質問



災害公営住宅（イメージ）

**問** 本町では8月中旬の時点で入居期限が2年間の応急仮設住宅等に400戸が入居している。これに対し入居期限に定めのない室団地の建設戸数は僅か20戸に過ぎない。町の災害復興計画では被災者の住まいの確保として「※災害公営住宅」の整備を掲げている。住まいと暮らしの再建こそは復興の原点だ。その建設見通しを示せ。

**答** 災害公営住宅に入居できるのは、罹災証明で住宅が全壊となり住宅が無い方、または大規模半壊、中規模半壊、半壊の判定を受けたが住宅として再利用できず解体を行った方など住宅が滅失していることが条件となる。町では被災された住民を対象にアンケートを実施し、その結果を踏まえ、必要戸数や場所などについて県と協議する予定だ。

**問** 昭和27年から翌28年に掛けて本町で繰広げられた※内灘闘争は、国民の耳目を集めた我が国初の大規模な基地反対運動であった。この闘争の歴史的な意義は大きく、日本史や郷土史の研究においても町が保有している内灘闘争関連資料は極めて貴重な財産である。それらを内灘町文化財に指定して後世に残すべきだ。

### 「内灘闘争」資料の文化財指定

**答** 内灘闘争は、基地反対闘争の先駆けであり、内灘町の歴史のなかでも大きな出来事であった。町では、内灘闘争関係資料の収集、整理を進めてきた。これら資料を活用して講演会や企画展など節目のイベントで内灘闘争の啓発に努めてきた。今後、資料を精査し、文化財保護審議会の意見を踏まえ町文化財の指定に向けて準備を進めたい。



権現森での座り込み（著名な写真家による撮影）

**※内灘闘争** 昭和27年から翌28年に掛けて、内灘砂丘に米軍砲弾試験射場が建設されることに反対し、内灘村民や全国から駆け付けた労働者・学生らが大規模な基地反対闘争を展開した事件。著名な文筆家や写真家ら多数が内灘村を訪れ、多くの作品が残される契機となった。

**※災害公営住宅** 公営住宅法に基づき整備される公営住宅のうち災害により全壊等の住宅に居住していた被災者に賃貸される住宅。被災直後に一時的な住まいとして無償提供される応急的な仮設住宅とは異なり、恒久的に居住することが可能となる。



きたがわ えつこ  
北川 悦子

# 町の復興基金の活用は 町長 県の詳細な要綱が確定した後



復興住宅20棟 工事始まる（室地区）

**問** 復興基金は（町への一次配分1億7517万円余）被災者に寄り添った活用が期待される。罹災証明が半壊以上でないとの支援が受けられないため多くの不満がある。罹災証明が半壊に満たない人への救済に、復興基金の活用はできないか。町の復興基金活用の考えを問う。

**答** 国の支援制度の対象

外となる半壊未満に、町独自に被災者生活再建支援金や内灘町生活再建特別給付金の支給を行い、液状化等の被害には住宅耐震化促進事業や被災宅地等復旧支援事業を設けており、町独自の上乗せ支援をし、県内では補助金額が最高の水準。復興基金は、県の詳細な要綱が確定した後、財源を見極め、被災者の支援策について検討する。

## 支援物資

**問** かほく市では、市役所や社会福祉協議会、ボランティア団体の共同支援センターが協力して食料支援を3回実施、200人ほどの方が訪れたと聞いている。内灘町にも、食料・物資支援のニーズがある。町の支援物資の状況と食料、支援物資の配布の計画はあるか。

**答** 支援物資配布は、避難所の閉鎖やライフラインの復旧により、現在は行っていない。全国から寄せられた水などの支援物資は、ほとんどを被災者の方々や地区公民館、町社会福祉協議会に配布し現在、町備蓄分のみ残っている状況。被災者への今後の支援物資の配布計画は、現在のところ計画していない。



4回目の食料支援（かほく市）

## その他の質問

**問** 蓮湖渚公園のグラウンドゴルフ場の使用時期を問う。

**答** 利用者の安全確保を第一に検討し、制限付で日曜日のみ午前9時から午後3時まで使用可能。

**問** 高齢になっても安心・安全に住み続けられるように、補聴器購入助成制度の創設が必要。

**答** 多額の財源が必要。今後も国の動向を注視し、導入している自治体の制度を調査研究する。



いたた はやと  
生田 勇人

# 被災宅地等・工事ごとに申請可能にせよ

## 県と協議し限度額まで可能に 副町長

### 一般質問



傾いた住宅（西荒屋）

**問** ※被災宅地等復旧支援制度に関して、内灘町の被害の特性上、最大補助金額を超える工事も少なくない。まずは住宅の傾斜修復、そして道路境界と民地境界の確定後に擁壁と地盤などの修復といった、この制度の上限度額に届くまで、工事ごとに申請が可能となるよう「1宅地につき複数回申請」をできるものとしなければならぬ。

**答** 当初、県は支援制度の利用は「1宅地につき1回」としていた。県に対し、側方流動による宅地被害が大きい状況を説明し協議した結果、限度額に達するまで、複数回に分けた申請ができることとなった。9月2日より開設した相談窓口で複数回の申請が可能となったことを伝え、周知を図っている。

**問** 町は各地区の復興協議会と意見交換をおこなう、町災害復興計画策定の段階において、その結果をもって液状化対策や道路復旧などの方向性を地域住民のコンセンサスを得ることが重要だ。これは決してアンケートではあってはならない。地域住民の声を聞き、コンセンサスを得るプロセスをどのように考えているのか。

### 住民の意見を反映

**答** 町災害復興計画検討委員会の会議資料や議事録などは町ホームページで公表しており、内容を確認することができる。計画の策定に広く住民の意見を反映させるためパブリックコメントの実施も予定している。住民の意向把握や情報発信に努め、地区協議会にも協力をいただき、広く住民の皆様の意見を取り入れていきたい。



住民説明会（鶴ヶ丘東公民館）

### ※被災宅地等復旧支援制度

擁壁、地盤、宅地のり面等の復旧、住宅の地盤改良、傾斜修復費用の一部を支援する制度。

突撃!

# 街かどインタビュー

伝統を継承する

町の団体シリーズ⑳

今回は、「向粟崎菅原神社総代」におじゃまして、代表の長谷川和良さんにインタビューしました。



代表の長谷川さん

◆ 神社総代は何人でしているのですか？

○現在、9人でしています。その中で3人は区会議員からで、あとの6人は祭り好きな一般の人たちです。定年は区会議員は任期まで、一般の人たちはやれるまでです。この中のベテランの方たちが何でも知っていて助かります。

◆ 神社総代の仕事は何をしているのですか？

○毎月一度集まり神社の周りの掃除などです。また、1月は正月の初詣での手伝い、3月は春祭



神社総代の皆さん

りの準備、神社の番など6月は神木伐採、草刈り消毒など、10月第一週には秋季祭礼があり、これは1年を通しての準備になります。祭りの道具の準備、破損したものの確認修繕、衣装の手配など、1番のメインになる神輿をかつぐ初老の皆さんとの奉納の打ち合わせ、宮司へのお願ひ、道路の許可申請等々さまざまな手配をしています。

◆ 奉納するものは初老の方たちが宮司と相談するのではなく、神社総代とするのですか？

○そうです。ただ、最近はその年その年で人数がバラバラですから、その年度の予算に応じて奉納の品を決めます。今年は近年まれに見る22人もいって大変立派なものをお願いしました。

◆ 以前に奉納していただいた古くなったものはどうするのですか？

○ご健在されている方に連絡して、お祓いして処分いたします。



お祭りの神事



お祭りの準備をする神社総代の皆さん

※向粟崎菅原神社の由来

天正15年(1587年)5月に小浜神社境内より向粟崎に移転造営する。前田家の祖・菅原道真を産土神とし、前田家より御紋付幕一張、菅原道真公像一幅奉納される。明治9年11月に本根布の産土神神明宮を境内に移転再営する。

◆ ありがとうございます。  
インタビュー 川口正司

## 編集後記

元日の地震で甚大な被害を受けた能登半島を今度は記録的な豪雨が襲った。24時間雨量が400mm超という観測史上最大級の大雨によって、ただでさえ復旧の遅れが指摘されていた奥能登での被害がさらに拡大した。

今回の大雨は元日の地震より辛かった。田畑まで根こそぎ無くなってしまった」と豪雨の一週間後に出会った人が語った言葉は、正月の激震で家が損壊した人の言葉であっただけに今も耳の底に残っている。

世界全体の地震の二割強を受け持ち、南海トラフ巨大地震も不可避なこの地震大国には『防災省』のような国家機関は不可欠なのだ。これを創設する首相は、国民目線からすれば、歴史に残る首相」との評価が得られることは確実だと思うのだが…。

(委員 西尾 雄次)

### 広報対策特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 中村 聡  |
| 副委員長 | 土屋 克之 |
| 委員   | 北川 悦子 |
| 委員   | 川口 正己 |
| 委員   | 西尾 雄次 |